



滝 健一 議員

1、旧鳴瀬未来中学校校舎ならびに関連施設の管理について

Q 鳴瀬未来中学校が中下地区に移転し、生徒は新たな希望で学業に励まれている。一方旧校舎等の利活用が大いに期待されている。そのためにも校舎や関連施設の維持管理の在り方は極めて重要であるが、これまではとてむずさんである。立入禁止のバリエード

の設置が遅い、倉庫等が施設されていない、まだ使用できる物資等が雨ざらしにされている、電気コードが長く地べたに敷かれている、プール機械室の一部が分解されたままになっている、PH調整剤がそのままに重なっている等々である。管理の基本的な在り方を理解していないと思われる。

A 市長 旧鳴瀬未来中は学び舎としてだけでなく、小野地域の中核施設としても使用してきた。今後は小野地区学校施設利活用事業の優先交渉権者の学校法人タイケン学園へ円滑な引き継ぎと市の発展に資するよう適切な管理に努める。

A 教育長 管理の状況は安全対策と防犯上から校舎は施設し立入禁止としている。定期的に校舎と関連施設に異常が無いか現地の確認を行っている。今後も校舎等の利活用が決定するまで、地域の皆様方にも安心していただけるよう引き続き適切な施設の管理を実施する。ご指摘の件につきましては対応が不十分であり、反省するところであり、今後には生かしていく。



▲生徒のいない旧鳴瀬未来中学校



▲初代西洋医学所頭取、郷土の偉人大槻俊斎先生像



櫻井 政文 議員

1、郷土の偉人（大槻俊斎、富田鐵之助、奈良坂源一郎等）の顕彰事業および先人教育について
2、ひきこもり対策について

Q ある大槻俊斎、富田鐵之助、奈良坂源一郎等の顕彰事業および先人教育を推進することにより市民のふるさと意識の高揚と子供たちの郷土愛の涵養を図るために以下、所見を伺う。顕彰施設や説明板を設ける考えはあるか。当市のホームページに「先人・偉人」コー

ナーやweb博物館を作成する考えはあるか。偉人伝の編纂や偉人の命日に祭りを斉行する考えはあるか②最近のひきこもりは長期化、高齢化の傾向があり、今後、ひきこもりに対して適切で迅速な対応が求められる。ひきこもり者は能力の高い人が多く、彼らの能力を活かす包括的支援を問う。

A 市長・教育長 ①大槻俊斎と奈良坂源一郎の像を建立するなど実施してきている。今後、市ホームページに「先人・偉人」の情報を掲載する方向で検討する。さまざまな偉人の副読本が有るので、それを活用して偉人学習を充実させる。偉人の命日を記念する行事は意義深い。

②今後のひきこもり相談は土日開設も視野に入れていく。ひきこもりの居場所作りについては「東松島市のケアハウス」を開設している。就労に対しては、支援機関、民間団体、自治体等が連携しながら対応していく。今後は心理や福祉の知識を有するスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの適正な人員配置を図り、また行政職員の専門性を高める。

Q 旧鳴瀬未来中学校校舎の管理は
A 市の発展のため適切に管理する



Q 偉人顕彰とひきこもりを問う
A 支援策に取り組み、強化を図る

